

時の動き

韓国労働者の闘いにまなぶ

東京都葛飾区 尾澤 邦子

11月9～12日、韓国へ行ってきた。長年交流を続けている仁川地域の労働者や、一昨年来日し日本本社に対して解雇撤回を求めて闘った韓国サンケン労組と交流し、民主労総の全国労働者大会に参加した。

非正規職労働者の闘い

金浦空港に迎えに来てくれた民主労総仁川地域本部の方が最初に案内してくれたのは、仁川の公共運輸労組南川区都市管理公団支部。南洞国民体育センターにある支部事務所で36歳の若き事務局長が待っていた。仁川市南洞

区が100%出資して作った地方公営企業で、体育館や水泳場、公園、区の施設や環境管理などで働く労働者を組織している。2009年体育センターでの非正規職解雇問題を機に、正規職で当時所長だった現支部長と、コーチの現事務局長が中心となり、97%の契約職や短時間労働者などの非正規職労働者を組織した。そして団体交渉やストライキで闘い、135名の非正規職労働者を正規職に転換させた。事務局長は「地域の人々からの信頼と支援が後押しとなり、とても力になった」と話していた。

車で移動しながら窓から、道路に沿

って壁にずらりと何枚もの労組の横断幕が見えた。韓国GM社だ。正門前にはテントが二つ張られていた。車を降りテントを訪問した。非正規職労組のファンホイン委員長からあいさつがあった。「景気が悪くなるとまっ先に解雇されるのは非正規職。年末までに100人くらい切り込みを続けているが会社は私たちを認めようとしらない。韓国政府労働部からは不法派遣だと言われているし、裁判所からも正社員に登用しろと命令が出ているのに会社は従わない。私たちは労働者の権利を守るために最後まで闘う」と話した。隣



仁川都市管理公団支部 (2018. 11. 9)

労働者たちが地域の労働者と共に支援している。

国労の「人間の歌」

10日午前、ソウルの民主労総全国金属労組の会議室で韓国サンケン分会との交流会を行った。オ・ヘジン分会長から解雇を撤回し、会社に復帰した後の状況について報告があった。「新社長は労組を認めず、交渉もうまくい

のテントは、正規職で非正規の労働者と共に闘う労働者が籠城していた。正規職労組は非正規職労組と共に闘おうとしなが、現場で働く正規職の

かなかったが、18年8月頃から態度が変わってきた。日本本社から労組とうまくやるように言われたようだ。2018賃金交渉はうまくいって調印式も行った。前分会長のヤン・ソンモさんが喉頭がんで治療中だが、地域の人や金属労組で支援している。日本からも応援のメッセージやカンパをいただき感謝している」と話していた。

18万名の組合員を代表する金属労組のキム・ホギユ委員長と主席副委員長、事務局長があいさつに来てくれた。委員長が「最近私が組合員の教育で使っているのは、日本の国労の『人間の歌』です。生きること、労働の希望を与える重要な歌です」と話したのを聞いて、驚いた。1987年の国鉄分割・民営化で苦境を強いられた多くの国鉄職員の方が命を絶った。そんな中でつくられた「人間の歌」。日本の労働運動活動家でも知らない人が多いだろうに、日本の労働運動についてもよ

く知っていると感じた。

韓国サンケン分会指導委員のキム・ウニョンさんから「情勢と労働運動の方向と課題」について話していただいた。ウニョンさんは「日本の侵略の歴史は、過去の問題ではなく現在進行形だと捉えている。韓国や日本でアメリカ軍を追い出し、北東アジアにおける平和を確立するためには、日本と韓国の労働者・民衆が力を合わせなければならぬ。韓国サンケンの闘いは、共に闘ったからこそ勝利できた。米軍基地撤退や歴史問題に対しても共に闘わなければと思う」などと話した。



ウニョンさん講演 (2018. 11. 10)

に闘ったからこそ勝利できた。米軍基地撤退や歴史問題に対しても共に闘わなければと思う」などと話した。



全国労働者大会

午後3時から「積弊清算！ 労働者の権利！ 社会大改革！」 11・21

労働者大会 (2018. 11. 10)

ゼネスト宣言！ 全泰志烈士精神継承2018全国労働者大会」が始まった。会場は人、人、人の波、全国から参加した労働者6万人が光化門交差点から市庁方向まで道路を埋め尽くしていた。その内3万人が非正規職労働者の組合とのことだ。

とにかくスケールの大きさにびっくりする。メインステージにはクレーンで吊り上げた18個のスピーカーと超ワイドスクリーン。会場のあちこちにステージの様子を伝える音響とスクリーンが大きなトラックに据え付けられている。音響の凄さが身体の中に響いてきた。

オープニング映像に続き、金属労組双龍車支部長、鉄道労組前KTX列車乗務支部長、金属労組カブルオートテック分会長が3人で開会を宣言。組合旗入場、連帯あいさつ、映像、ダンスのあと、現在高空籠城で闘うファインテック労組とタクシー労働者がテレビ

電話で話した。民主労総のキム・ミヨンファン委員長は「民主労総は今、ILO核心協約批准と労働法改定、国民年金改革と非正規職撤廃のための社会大改革11月ゼネストを始めている」とあいさつした。

ゼネスト決議文では「すべての労働者が自由に団結し、交渉し、ストライキをする権利、非正規職のない世の中雇用安定、平等社会建設、そのために民主労総のゼネストはすでに始まった世の中を動かす力、社会発展と改革の動力であるわれわれ労働者が政府と国会に対する期待を振り切つて、私たちの力で社会大改革の扉を開こう」と読み上げた。大会後、デモ行進に移った。道路いっぱい広がるデモ行進に、労働運動の力、労働者の力強さを感じた。

(おざわ くにこ)